

家の畑で野菜を育てる

秩父市立南小学校 6年 加藤 正慎

ぼくの家には、小さな畑があります。季節によつて色々な野菜を植えています。その中でも春と夏は畑がととにざやかたなるので、ぼくはこの季節の野菜がとと好きです。

夏の畑には、ぼくの大好きな、トマト、オウゴン、ナス、イノゲン、サユ、ユ、ヨリ、など、色々な野菜がとと

んで、さよ。秋、冬の畑より種類が多く、色とりとりたからです。

ぼくの仕事は、朝夕の水やりと収穫です。

朝はシャキとした野菜が、昼ごろにはぐたつ

と、な。ていて、暑すぎるせいか、とて

ら、そうです。オウゴンは一団取りのがしただけ

で、とて、も下さしな。こしまて、固く食べ

ら、ん、たくな。てしまつた。おこるまじ

き、ヤウリは、と、そのままかじると、

う、り、の、本当の味がするよ。うなまかして、おいし

いです。野菜ごとに食べにくる虫がちがうこ
とも、収めくして置いて気が付きました。雨の
後には葉の下にかくれて雨やびりしていたりし
て、さらあえ者のがい虫がおりて思えまし
た。

今年の夏は、四十度近い日が続いたりして、
野菜かとても苦しうてした。梅雨は雨が、
少なく、雨のときはしびりの大雨で、野
さいがとまえてしまったりして、技がおりて
しまったりしてります。温暖化、線状降水帯

という言葉をニュースで聞いたりしたので
すが、家の畑でも、ひがいをうけてるとかん
じました。十年後二十年後その先も農業がど
きるように、地球のカーボンフットプリントを
守ることでできるのか、考え実行してりまし
た。思いました。太陽、水、土でできる野菜
は地球と深い関係がある。家の畑を通じ
て学びました。